

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 7 日(2022.3.7)

【公開番号】特開 2020-157548(P2020-157548A)

【公開日】令和 2 年 10 月 1 日(2020.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2020-040

【出願番号】特願 2019-57891(P2019-57891)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/70(2006.01)

10

【F I】

B 4 1 J 11/70

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 25 日(2022.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体の搬送方向と交差する第 1 方向へ第 1 の刃先を向けた第 1 刃と、
前記第 1 方向の逆方向である第 2 方向へ第 2 の刃先を向けて、前記第 1 方向への移動と前記第 2 方向への移動とが可能であり、前記第 2 方向へ移動することにより、前記記録媒体を、一部を切り残して切断する第 2 刃と、
前記第 2 方向において前記第 2 刃よりも前方に位置して前記第 2 刃と共に移動し、前記第 2 刃が、前記記録媒体を切断する位置よりも前記第 2 方向において後方に位置する場合に、少なくとも一部が前記第 1 の刃先よりも前記第 1 方向へ突出する位置、もしくは、前記第 1 の刃先と同じ位置、であるガイド位置に在るガイド部と、を備えることを特徴とする
カッター装置。

30

【請求項 2】

前記第 2 刃と前記ガイド部とは一体の部材により形成されている、ことを特徴とする請求項 1 に記載のカッター装置。

【請求項 3】

前記第 2 刃と前記ガイド部とにより、前記記録媒体を通過させる穴であって全周が閉じた穴を形成する、ことを特徴とする請求項 2 に記載のカッター装置。

【請求項 4】

前記第 2 刃と前記ガイド部とは別体の部材であり、
前記ガイド部は、前記ガイド位置を移動の開始位置とする前記第 2 方向への移動の期間および、前記ガイド位置を移動の終了位置とする前記第 1 方向への移動の期間は、前記第 2 刃と連結して前記第 2 刃と共に移動する、ことを特徴とする請求項 1 に記載のカッター装置。

40

【請求項 5】

前記第 1 刃および前記ガイド部は第 1 構造体に配置され、前記第 2 刃は第 1 構造体とは別の第 2 構造体に配置され、前記第 2 構造体は前記第 1 構造体に対する姿勢を変更可能である、ことを特徴とする請求項 4 に記載のカッター装置。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 請求項 5 のいずれかに記載のカッター装置を備えることを特徴とするプリンター。

50